

## 25 倉庫

【関連章第7章8】

### 事例 「倉庫内の屋内電気配線から出火した火災」

出火時分 10月 17時ごろ

用途等 倉庫 防火造 2/0 延 100 m<sup>2</sup>

防火管理 非該当

被害状況 建物半焼 1棟、建物部分焼 2棟、建物ぼや 4棟、計 7棟 50 m<sup>2</sup>等焼損

#### 概要

この火災は、倉庫の2階から出火したものです。

出火原因は、床に伸びていた何らかのコードが収容物の踏みつけ等により短絡し出火したものです。

近隣居住者は友人宅前で立ち話をしているとき、破裂音が3回したためその方向を見ると黒煙が上がっているのを発見し、自身の携帯電話で119番通報しました。

近隣居住者及び通行人は近くにあったゴムホースで水をかけ初期消火を試みましたが、消しきれませんでした。

#### 教訓等

出火した倉庫には大量の物品が保管されていたため、保管された物品がコードを踏みつけ出火に至った可能性があります。さらに保管された物品に着火したことで、急激に火勢が増してしまった可能性があります。

倉庫という性質上、様々な物品や資器材等が多く保管されており、一度出火してしまうと多量の可燃物が燃焼し、延焼拡大する危険性があります。指定数量以上の危険物や指定可燃物を保管する場合には消防法及び条例に基づき、適切に届出を行い、管理をする上での適切な環境が重要になります。



写真 25-1 焼損した倉庫の状況



写真 25-2 焼損したコードの短絡状況